

一般社団法人日本リハビリテーション工学協会 2021 年度の経過

2021 年度の事業も新型コロナウイルス感染症(COVID-19)拡大防止に、大きく影響を受けました。

リハ工学カンファレンスについては、2021 年度の Web 会議システムでの開催、2022 年度も Web 会議システム利用を決めて準備し、開催を目前にしています。

福祉機器コンテストについては、特別協賛のフランスベッド株式会社様をはじめとした協賛企業様にご支援いただき、募集・選考をすすめました。

協会誌は Vol.36 No.3 から Vol.37 No.2 まで 4 回発行しました。特集内容は多岐にわたり、論文投稿もありました。電子化によるアクセスの向上も進みました。

分科会・専門委員会関連事業として、SIG(Special Interest Group)関連は基本的に内部化についての理解は得られたので、さらなる調整で 2022 年度からの法人内移行を目指します。

地域支部は Web 会議システムを利用して、企画した支部のイベントに、離れた地域からも参画できる仕組みが実証されました。協会本部主導によるイベント、リハ工 ミライ・アッセンブリーとも今後は連携を進めます。

災害対策に関しては、委員会が積極的に動いています。一般社団法人日本災害リハビリテーション支援協会 (JRAT)と連動する意味は大きいと感じています一方で、協会が果たすべき案件を投げかけられている部分があります。委員会主導で協会として何ができるのか検討します。

企画推進事業は、先のリハ工 ミライ・アッセンブリーを新たに始めることができました。会員向けに限らない情報発信の場として、定期的に開催します。地域支部はもとより今後は SIG との連携も検討します。なおこれまでの全国頸髄損傷者連絡会との頸髄損傷者の自立生活と社会参加に関する実態調査より、「頸損解体新書 2020 最終報告会」を開催しました。また「第9回合同シンポジウム」も開催しました。

国際連携では、GAATO(Global Alliance of Assistive Technology Organizations)加盟団体として、総会、理事会に参加し、GAATO が進める支援機器の効果に関する国際的な検討、世界保健機構(WHO)との協力・連携事業にも積極的に参加してきました。アジアでの国際会議も対面式を基本に、進められています。

総務関連では、協会が一般社団法人としての内部に抱える課題を更に解消していきます。個人情報保護、特定商取引等、多くの懸案がありますが、より適切な活動を進めます。インボイス等の国の動きにも対応して、適切な財務体制を、いま一度徹底して参ります。事務局の強靭化に関しても、さらなる検討をします。

以上、2021 年度の事業の概要について、ご報告させていただきました。最後になりましたが、2021 年 10 月の個人情報管理の問題は、2 月から新しい会員番号の付与ということで、いくつかの対策を実施しました。一方で、周知には問題もあり、ご心配に加え、お手数をおかけしました。重ねてお詫び申し上げます。対策はまだ充分に完了しておりません。継続して実施していますので、あらためてご報告します。新体制となり、ある意味彷徨いながらも、活動だけは止めることなく進めてきました。会員の皆様に感謝し、事業概要の報告を終わらせていただきます。

会長 河合俊宏

1. 社員・会員

1-1. 法人社員・会員

2021 年 7 月 1 日 正会員 590 名(うち社員(代議員)68名)、学生会員 2 名
賛助会員数 15 社(47 口)

2022 年 6 月 30 日 正会員 597 名(うち社員(代議員)68 名)、学生会員 6 名
賛助会員数 14 社(44 口)

2.事業

本協会の主たる事業は、リハ工学カンファレンスの開催、福祉機器コンテストの実施、協会誌の発行、SIG活動及び委員会活動である。以下に、各事業の2021年度の活動を報告する。

2-1.リハ工学カンファレンス関連(担当理事:鈴木太・山田賀久)

1)第35回リハ工学カンファレンス準備

1年延期となった第35回リハ工学カンファレンス in 北九州の開催準備を行った。

会期:2021年(令和3年)9月25日(土)~26日(日)

会場:Web会議システム

大会テーマ:リハ工学で支える 新しいライフスタイル

大会長:繁成剛氏(長野大学)

実行委員長:中村詩子氏(北九州市立総合療育センター)

2)第36回リハ工学カンファレンス準備

第36回リハ工学カンファレンス from 中国・四国支部を開催すべく準備を行った。

会期:2022年(令和4年)8月20日(土)~21日(日)

会場:Web会議システム

大会テーマ:リハ工学が変える!住み続けられるまちづくり

大会長:鈴木太氏(愛媛県障害者連絡会)

実行委員長:谷口公友氏(広島国際大学)

3)カンファレンス講演論文集電子公開検討

会員へのメリット、講演論文集販売状況、在庫管理経費などを検討材料に、カンファレンス講演論文集を協会ホームページへ電子公開できるよう検討を行った

2-2.福祉機器コンテスト関連(担当理事:村田知之)

1)福祉機器コンテスト2021

学生部門一次選考会の開催 応募19作品(会員3件、非会員16件)

2021年7月20日(火)を締切とし選考委員による投票

書類・ビデオ審査により10件を一次選考会通過とした

機器開発部門・学生部門二次選考会の開催 2021年8月8日(日)

機器開発部門:プレゼンテーション及び実機による審査

学生部門:実機による審査

於:Web会議システム

発表:第35回リハ工学カンファレンス in 北九州のプログラム内 2021年9月26日(日)

於:Web会議システム

表彰:第35回リハ工学カンファレンス in 北九州のプログラム内 2021年9月26日(日)

於:Web会議システム

展示、広報:

協会ホームページへの掲載、会員MLでの配信、協会誌への掲載、SNS協会公式アカウントへの投稿

キッズフェスタ2022(報告) 2022年4月16日(土)~17日(日)

於:東京流通センター第一展示場(東京都)

バリアフリー2022(展示・報告) 2022年6月8日(水)~10日(金)

於:インテックス大阪(大阪府)

2)福祉機器コンテスト 2022

福祉機器コンテスト 2022 事務局の設置 2022 年 3 月 1 日(火)

選考委員会の設置 2022 年 4 月 1 日(金)

後援団体への後援名義使用申請、企業への協賛依頼

福祉機器コンテスト 2022 広報開始 2022 年 5 月下旬から

福祉機器コンテスト 2022 機器開発部門(締切 2022 年 6 月 20 日(月))

学生部門(締切 2022 年 6 月 30 日(木))募集開始

機器開発部門一次選考会の開催 応募作品 26(会員 5、非会員 21 件)

(福祉機器コンテスト 2021 機器開発部門の応募作品は 20 件(会員 6 件、非会員 14 件))

2022 年 6 月 25 日(土)に書類・ビデオ審査により 12 件を一次選考会通過とした

展示、広報:

協会ホームページへの掲載、会員 ML での配信、協会誌への掲載、SNS 協会公式アカウントへの投稿

キッズフェスタ 2022(広報) 2022 年 4 月 16 日(土)~17 日(日)

於:東京流通センター第一展示場(東京都)

バリアフリー 2022(広報) 2022 年 6 月 8 日(水)~10 日(金)

於:インテックス大阪(大阪府)

3)コンテスト発展のための取組

Web 会議システムの活用

運営方法の見直し

協会ホームページへの掲載、会員 ML での配信、協会誌への掲載、SNS 協会公式アカウントへの投稿

など広報への活用

2-3. 協会誌関連(担当理事:石濱裕規・植田瑞昌)

1)編集委員会

年 4 回開催し、うち 1 回は東京大学先端研とのハイブリッド開催とした。その他、臨時編集委員会を随時開催した。

2)協会誌発行

以下について、企画・準備・発行を実施した。

Vol.36 No.3 2021/8 特集「ケア現場の組織づくりのための労働安全衛生 ~ノーリフティングケアの取り組み~」

Vol.36 No.4 2021/11 特集「すべての人が気持ちよい排泄を 一用具がつなぐコンチネンスケア」

Vol.37 No.1 2022/2 特集「10 年後に向けて、脊髄損傷の再生医療とリハビリテーションの取り組み」

Vol.37 No.2 2022/5 特集「旅に出る」

Vol.37 No.3 2022/8 特集「教育と VR テクノロジーの発展について(仮)」

Vol.37 No.4 2022/11 特集「生活を支えるスマホ・タブレット型端末によるアプリ・IoT(仮)」

今後の刊行予定につき意見交換を進めた。

Vol.38 No.1 2023/2 特集「高齢者の移動を支援する福祉用具(仮)」

Vol.38 No.2 2023/5 特集「摂食嚥下(仮)」

Vol.38 No.3 2023/8 特集「車椅子・シーティング関連(仮)」

Vol.38 No.4 2023/11 特集「入浴(多職種協同)(仮)」

3)投稿論文(査読依頼)

2021年度投稿7件の査読者選定・(再)査読依頼・結果通知を進めた。Vol.37 No.1掲載済1件、Vol.37 No.2掲載済2件、Vol.37 No.3掲載予定1件、査読後著者修正中1件、第3査読中1件、掲載不可1件、査読期間は短縮傾向
査読委員公募を協会ホームページ、協会誌上にて行ったが公募者ではなく、従来のSIG依頼に加え、担当理事・編集委員経験者・査読経験者への打診を進めている

4)協会誌の段階的電子化

協会誌J-STAGE(科学技術情報発信・流通総合システム)アクセス状況、近接領域他誌動向の集計調査結果を提示し、編集委員会に公開形態に関するアンケートを実施した
次号刊行に併せたバックナンバー電子公開準備、紙媒体協会誌の電子化を進めた

5)その他

医中誌Webより、当誌掲載論文の要旨の利用依頼があり、審議の結果、医中誌と契約を締結することに賛成多数となった
当誌掲載記事の許容される二次掲載(二次出版)について、ICMJE(医学雑誌編集者国際委員会)統一投稿規定、Creative commons License等の検討を進めた
協会誌広告の減少に伴い、広告募集のあり方の見直しを進めた
編集委員会幹事より退任のご意向があり、今後の協会誌編集委員会のあり方について、検討を進めた

2-4. 分科会(SIG)(担当理事:桂律也)

1)SIG活動支援

2021年度は、SIG講習会などの活動も再開され、協会誌やホームページへの掲載などの広報活動の支援を実施した。また、リハ工 ミライ・アッセンブリー及びリハ工学カンファレンスなどの協会主催事業に対する各SIGの協力要請も実施した

現在法人外の協力SIGとは、引き続き内部化に向け調整を行い、2022年度中に内部SIGを設立し、現在の任意団体SIGは残務処理を行い、解散する方向で基本的な合意は形成された。協力SIGのうち、義肢装具SIGは、内部SIG設立申請が提出され、2022年度からの活動が承認された。また、移乗機器SIGについては、2021年度で任意団体SIGは解散し、2022年度に内部SIG設立の方針となった

2)SIGの位置づけ検討委員会

協力SIGの内部化に向けた課題を整理し、作成済みの趣意書・覚書ひな形を確定した

2021年度SIG活動報告 期間:2021年7月～2022年6月

※SIG会員数(協会員数)は2021年6月1日現在

SIG 姿勢保持	http://www.resja.or.jp/posi-sig/	会員数:125名(30名)
代表者:繁成剛(長野大学)	事務局長:児玉真一	
・Webサイト運営、会員専用MLへの情報発信、協会事業への協力		
・書籍(小児から高齢者までの姿勢保持・第2版)や資料集PDF版の販売		
・講習会:2022年6月12日(日) オンライン配信 主会場:四天王寺和らぎ苑		
・講習会イベント:2022年3月20日(火) オンライン配信 主会場:四天王寺和らぎ苑		
車いす SIG	https://www.resja.or.jp/wc-sig/	会員数:48名(36名)
代表者:沖川悦三(神奈川県総合リハビリテーションセンター)	事務局長:深野栄子	

・Web会議システムによる役員会開催(8回)
・第50回車いすSIG講習会(Web会議システム) 「車椅子シーティング～評価に基づいた車椅子の実現～」の開催 2021年11月6日(土)
・車いすSIG講習会 50回開催記念大会(2022年9月)の準備、講師打ち合わせ2回
・Webサイト運営、分科会(BOG)活動、大規模災害復興支援、協会事業への協力 他
自助具 SIG ホームページなし Facebook登録会員46名(46名)
代表者 事務局長:岡田英志 ・3Dプリンター研究会立ち上げ検討グループ設立(第36回リハ工学カンファレンスセミナー参加準備中) ・自助具貸出事業 1件(会員の岩崎氏による西九州大学での講義)
乗り物 SIG https://ameblo.jp/sunrisejp007/ 会員数:5名(5名)
代表者:麿澤孝((有)セカンドステージ) 事務局長:片石任(株式会社フロンティア) ・SIGブログの更新、充実、修正検討、情報提供・発信
SIG 褥そ防止装置 http://www.resja.or.jp/sig-pmps/ 会員数20名(10名)
代表者・事務取扱:新妻淳子(国立障害者リハビリテーションセンター研究所) ・COVID19下のシーティングクリニック開催に関する注意事項の啓もう活動を行った。 ・第36回リハ工学カンファレンスイベントへのパネリストの派遣を行った。
コミュニケーション SIG http://www.resja.or.jp/com-sig/ 会員数67名(20名)
代表者:渡辺崇史(日本福祉大学) 事務局長:上野忠浩(横浜市総合リハビリテーションセンター) ・ホームページ修正検討
SIG 住まいづくり http://www.resja.or.jp/sumai-sig/ 会員数:55名(38名)
代表者:橋本美芽(東京都立大学) 事務局長:鈴木基恵(横浜市総合リハビリテーションセンター) ・オンライン勉強会「復興公営住宅における高齢者・障害者への配慮の実態～宮城県における設計・監理の現場から～」開催(2022年6月4日:参加者26名) ・協会事業への協力
特別支援教育 SIG ホームページなし 会員数:5名(5名)
代表者:松田靖史(川村義肢株式会社) 事務局長:高原光恵(鳴門教育大学) ・特別支援関連事例の収集(教材、資料) ・協会事業への協力
移乗機器 SIG http://www.reha.kobegakuin.ac.jp/~hp-reha/transfer/ 会員数:66名(15名)
代表者:古田恒輔(神戸学院大学) 事務局長:青木久美子 ・役員会開催 7回 ・総会開催(6月12日) ・6月末日に解散
義肢装具 SIG http://www.resja.or.jp/po-sig/ 会員数:82名(25名)
代表者:笛川友彦(熊本総合医療リハビリテーション学院) 事務局長:砂野義信(フリーランス) ・義肢装具SIG ホームページ運営

2-5. 分科会(支部)・専門委員会(担当理事:植田瑞昌)

2021年度支部活動支援を行った。今年度は各支部においてイベントを開催する機会が増えた。また、研修企画委員会と連携し、第1回リハ工ミライ・アッセンブリーの準備、開催を行った。第2回に向け打ち合わせ等を行い、支部活動を支援した。

詳細は、「支部の2021年度事業報告」として別紙に示す。

2-6.企画推進事業(企画担当理事:伊佐拓哲／事業統括担当理事:中村俊哉)

1)学会展示会、広報活動強化

バリアフリー2021 出展

リアル展示会(2021年8月25日(水)～27日(金))

バリアフリーONLINE-オンライン展示会-(2021年9月6日(月)～21日(火))

バリアフリー2022 出展

リアル展示会(2022年6月8日(水)～10日(金))

バリアフリーONLINE-オンライン展示会-(2022年5月16日(月)～7月29日(金))

2)セミナー開催

バリアフリー2022におけるバリアフリーONLINE-オンラインセミナー

タイトル/講師:「障害者の運動習慣を考える」/伊佐拓哲

(バリアフリー2022 主催者による動画配信:2022年5月16日(月)～7月29日(金))

3)頸損解体新書 2020 発行と最終報告会の実施

「頸損解体新書 2020」を会員へ向け発送

頸損解体新書 2020 完成報告会

日時:2021年10月24日(日)13:00～16:30(オンライン配信)

4)合同シンポジウムの開催

「障害当事者とコロナ禍を考える」

日時:2022年5月28日(土)13:00～15:40(オンライン配信)

主催:日本リハビリテーション工学協会/全国頸損傷者連絡会

5)新たな会員獲得及びリハ工学に関する知識や技術の普及促進

新たな会員獲得に向け各支部の開催協力のもと連続セミナーを企画、「リハ工 ミライ・アッセンブリー」と題し、第1回を九州支部の協力のもと開催した。

第1回リハ工 ミライ・アッセンブリー 「最新機器アップデート」

日時:2022年3月2日(水)18:00～19:00(オンライン配信)

2-7.国際関連の事業(担当理事:森田千晶)

GAATO の理事として国際関連推進委員井上剛伸氏(国立障害者リハビリテーションセンター研究所)と桂理事が総会と理事会に参加した

2021年9月25日(土)、26日(日)にWeb会議システムにて開催された第35回リハ工学カンファ

レンス北九州の国際セッションにおいて、GAATO会長のWitte 氏のビデオメッセージを紹介した

2021年8月4日(水)、11日(水)に開催されたGAATO「支援機器の利用効果に関するワークショップ」西太平洋地域会議(Web会議システム)に協会から井上剛伸氏、桂理事、森田理事がまとめ役とな

り、国内の支援機器関係者41名(両日延べ人数)とともに議論した。その結果は世界各地域(50か国

307名)の結論を統合し"AT Outcomes and Impact Challenge Consultation"としてWHOに報告された

i-CREAtE2021 タイ、i-CREAtE2022 香港について開催要項などの情報をホームページに掲載した

2-8.災害対策関連(担当理事:早川康之・桂律也)

1)災害対策リハ工学セミナーの開催

2019 年まで実施していた災害対策リハ工学セミナーについて、2021 年度、災害対策委員会で開催を検討した。しかし、2020 年度に続きコロナ禍が継続した状況であり、2021 年度も見合わせることになった。

2) 災害対策委員会の常設及び運営と大規模災害時の協会の対応

2021 年度、災害対策委員会が常設され、委員会としての活動を始めた。2 回の会議を開催し、災害対策委員会の方針について検討した。十分な結論には至っていないが、ある程度の方針がまとまった。今後、JRAT を含めた災害対策に関連する他団体との連携について、状況把握とともに連携について検討していく。一方、JRAT 活動については、理事会、研修委員会、広報委員会、組織化委員会、局地災害地域リハ移行 WG、災害時福祉用具等提供 WG などに委員が参加し、積極的な活動を行っている。

JRAT 以外の他団体との連携については、今後の課題となる。

3. 総務

3-1. 選挙・規則(担当理事:江原喜人)

1) 2021 年度役員候補者選挙

- ・ 2021 年度代議員選挙ならびに役員候補者選挙において選挙管理委員会に対するサポートを行った

2) 規定の整備

- ・ 個人情報取扱規則および個人情報保護方針を作成し、理事会承認をもってホームページ並びに協会誌に公開した
- ・ 個人情報保護に関する各種規程(案)の作成を行った
(個人情報取扱いシステム運用管理規程、緊急事態対応規程、リスク対策管理規程)
- ・ 個人情報漏洩事象への対応として、会員番号の変更を行った

3-2. 財務(担当理事:岡野善記)

1) 法人会計の管理

2021 年度決算書作成

2021 年度決算の実施

2022 年度予算案の提案

四半期決算の実施

カンファレンス貸付金の整理

2) 分科会・支部の連結決算の準備

現状把握

会計システムの構築

3-3. 総会・理事会(担当理事:中村詩子)

1) 2021 年度社員総会

2021 年度定時社員総会

日時:2021 年 8 月 28 日(土)、13:30~14:30

場所:グランフロント大阪タワー(オンライン配信)

2021 年度臨時社員総会

日時:2021 年 9 月 19 日(日)、10:30~10:45

場所:新横浜ホール 加瀬ビル 88 第7会議室(オンライン配信)

2) 2021 年度理事会

2021年度第1回(通算第69回)～第10回(通算第78回)理事会を以下日程で、Web会議システムを用いて開催した。

開催日:2021年7月18日(日)、8月2日(日)、8月23日(月)、8月28日(土)、8月28日(土)

10月10日(日)、12月12日(日)、2022年2月12日(日)、3月13日(日)、6月13日(日)

3)2022年度社員総会の準備

2022年度定時社員総会の開催について、各理事に「2021年度事業報告」及び「2022年度事業計画書・予算要求書」の提出を依頼し、「2021年度事業報告(案)」及び「2022年度事業計画(案)」の作成を行った。

3-4. 広報・渉外(担当理事:杉本昌子・鈴木太)

1)協会リーフレット

増刷なし

2)Web会議システムの利用

Zoomミーティング:理事会、各委員会、統括会議、各イベント打合せ、各イベント実施等に利用

Zoomウェビナー:総会、合同シンポジウムの準備・運営

3)Web管理委員会

ホームページ更新

会長挨拶文改定

YouTube動画投稿

公式Facebook投稿

Xserver Driveにデータ移行

個人情報保護に関する協会ホームページお知らせ

特定商取引法に関する協会ホームページ表示

協会公式SNS運用検討

4)その他

学生研究支援

各種問合せ対応

新たな会員管理システムの検討

4. 事務局(事務局統括理事:江原喜人)

1)事務局運営

法人としての事務局を運営し、法人会計の更なる整備を進めた

2)各事業における活動

新型コロナウィルス感染症(COVID-19)拡大防止の観点から、展示会が中止またはWeb展示会となつたため、ブース出展がなく広報活動は行えなかった

5. 後援・協賛事業

2021年度は以下の事業の後援・協賛を行った。

No.		団体名	開催日程	内容
1	後援	一般社団法人日本作業療法士協会	2021/9/10～12 (現地開催) 2021/9/13～10/13 (オンライン配信)	第55回日本作業療法学会
2	協賛	特定非営利活動法人 ヒューマンインターフェース学会	2021/9/15～17 (オンライン開催)	ヒューマンインターフェースシンポジウム2021
3	後援	一般社団法人日本機械学会、一般社団法人ライフサポート学会、一般社団法人日本生活支援工学会	2021/9/16～18	LIFE2020～2021
4	後援	特定非営利活動法人 医療ネットワーク支援センター	2021/10～2022/3	第9回ウェルフェアデザインコンテスト
5	協賛	西日本国際福祉機器展実行委員会	2021/11/18～20	P.P.C.2021 第23回西日本国際福祉機器展
6	後援	特定非営利活動法人日本シーティング・コンサルタント協会	2021/11/20～21	第16回日本シーティング・シンポジウム
7	協賛	バイオメカニズム学会	2021/11/27～28	第42回バイオメカニズム学術講演会
8	協賛	感覚代行研究会	2021/12/6～10 (オンライン開催)	第47回(2021年)感覚代行シンポジウム
9	協賛	公益社団法人計測自動制御学会	2021/12/15～17 (オンライン開催)	第22回SICEシステムインテグレーション部門講演会
10	後援	特定非営利活動法人 バイオフィリアリハビリテーション学会	2022/2/28	第25回バイオフィリアリハビリテーション学会大会
11	協力	経済産業省製造産業局	2022/4/11～6/30	第10回ロボット大賞
12	後援	第3回福祉用具専門相談員研究大会	2022/6/16 (ハイブリッド開催)	第3回福祉用具専門相談員研究大会

【別紙】

支部の2021年度事業報告

東日本支部

支部活動のための体制の構築が困難な状況が続き、特別な活動ができていなかった。引き続き会員への情報発信ができるように検討を行う。

関東・甲信越支部

1)事業概要

コロナ禍の関東・甲信越支部活動として、災害対策キャンプをテーマにWeb会議システム等を用いたイベントを試行した。

2)主要事業

災害対策キャンプの企画・運営

イベント名:災害対策キャンプ 第2弾

日時:2022年3月21日(月・祝)

場所:神奈川県・千葉県のキャンプ場(現地とWeb会議システムを併用)

内容:神奈川県と千葉県での「災害対策キャンプ」として、それぞれ地域で実際にキャンプをしている方をWeb会議システムで繋ぎ「食事」について参加者間で意見交換を実施した

3)他学会等の事業への後援・協賛・協力

なし

4)その他

支部役員会の開催

日時:2021年6月15日(火)20:00~

場所:Web会議システム

内容:2020年度の報告と2021年度の活動内容について

日時:2021年11月23日(火)19:00~

場所:Web会議システム

内容:2021年度の活動計画・予算の確認、支部代表者会議報告、個人情報の取扱について

災害対策キャンプの企画について

日時:2021年12月22日(水)20:00~

場所:Web会議システム

内容:災害対策キャンプの企画について

日時:2022年2月1日(火)20:00~

場所:Web会議システム

内容:災害対策キャンプの企画について、ライトニングトーク(LT)イベントについて

ライトニングトークイベントの開催

日時:2022年2月23日(水)11:00~12:00

場所:Web会議システム

内容:災害対策キャンプの事前企画として「災害非難想定キャンプ、その前の事、保存食自慢」をテーマとしたライトニングトーク(LT)イベントを試行した

中部支部

1)事業概要

中部支部では、2021 年度支部セミナーを開催し、リハビリテーション工学に関する研究や情報の普及・啓発を図った。

2) 主要事業

支部セミナーの開催

デジタルものづくりワークショップ～3D プリンターで自助具制作～

テーマ：「3D プリンターを使ったものづくりの基礎、設計・製作実習など(基礎編)」

開催日：2021 年 8 月 14 日(土)13:30～17:30

場所：なごや福祉用具プラザ

参加者：19 名

講師：渡辺崇史氏(日本福祉大学)、長東晶夫氏(なごや福祉用具プラザ)

※名古屋市総合リハビリテーション事業団なごや福祉用具プラザ、日本福祉大学福祉テクノロジーセンターとの共催

金沢福祉用具情報プラザ オンライン見学会

テーマ：「福祉用具コレクション 最新福祉用具展示会のオンライン見学会」

開催日：2022 年 1 月 30 日(日)10:00～11:30

場所：金沢福祉用具情報プラザ及び Web 会議システム

参加者：23 名

講師：城野友哉氏、本田優介氏(金沢福祉用具情報プラザ)、北野義明氏(石川県リハビリテーションセンター)

※金沢福祉用具情報プラザとの共催

3)他学会等の事業への後援・協賛・協力

なし

4)その他

支部役員会の開催

日時：2021 年 5 月 22 日(土)10:00～11:30

場所：Web 会議システム

内容：支部活動での企画についての協議、2021 年度の事業の打ち合せ等

日時：2022 年 1 月 29 日(土)18:30～19:30

場所：Web 会議システム

内容：支部活動での企画についての協議、2021 年度の事業の打ち合せ等

関西支部

1)事業概要

関西支部では、2021 年度はバリアフリー2021、及びバリアフリー2022 出展への協力を行った。

また、協会が主催するリハ工 ミライ・アッセンブリーへの企画提案を行い、2022 年度内の実施に向けて調整中である。

2)主要事業

支部セミナーの開催 2021 年度は実施していない

バリアフリー2021 のブース運営協力

開催日:2021年8月25日(水)～27日(金)10:00～17:00

場所:インテックス大阪6号館

内容:支部スタッフの派遣

バリアフリー2022 ブース運営協力

開催日:2022年6月8日(水)～10日(金)10:00～17:00

場所:インテックス大阪6号館

内容:支部スタッフの派遣

3)他学会等の事業への後援・協賛・協力

なし

4)その他

なし

中国・四国支部

1)事業概要

中国四国支部では、2021年度予定していた支部セミナーを第36回リハ工学カンファレンスのプレカンファとして実施した。また、定期的な支部ミーティングをオンラインにて実施した。

2)主要事業

バリアフリー2021にて動画配信

開催日:2021年9月6日(月)～9月21日(火)配信

場所:Web会議システム

テーマ:「当事者こそが変える！人手不足の介護現場」

講師:鈴木太理事、谷口公友氏、下元佳子氏

(2)プレカンファレンスの開催

第36回リハ工学カンファレンスプレカンファ from 四国・中国支部

テーマ:「リハ工が変える！頸損父ちゃんの生活をまる裸」

開催日:2022年3月26日(土)13:30～16:30

場所:Web会議システム

参加者:60名

講師:鈴木太理事

※各SIGの皆さんに協力を得てSIGの使用している福祉用具に関連することや生活へのアドバイスをいたぐり形を取り、カンファレンスだけでなくSIGの紹介も行った

3)他学会等の事業への後援・協賛・協力

なし

4)その他

支部役員会の開催

第1回 2021年8月10日(火)18:30～20:00

第2回 2021年10月12日(火)18:30～20:00

第3回 2021年11月21日(日)18:00～20:00

【以下カンファレンスの準備のための会議として実施】

第4回 2021年12月9日(木)18:30～20:00

第5回 2022年2月8日(火)18:30～20:00

第6回 2022年3月10日(木)18:30~20:00

場所:Web会議システム

内容:

第1回 2021年度の事業報告・決算報告、2022年度の事業計画案・収支予算案について

第2回 第36回リハ工学カンファレンスについて中国・四国支部での開催を検討

第3回 中国・四国支部で開催を前提にカンファレンステーマ・日程の決定

九州支部

1)事業概要

第23回西日本国際福祉機器展にてオンラインミーティングを開催した。

また、第1回リハ工 ミライ・アッセンブリー(3月2日(水))にて、オンラインミーティングでの様子を動画配信しながら、展示品について意見の交換を行った。

2)主要事業

オンラインミーティングの開催

第23回西日本国際福祉機器展にて

開催日:2021年11月20日(土)10:30~16:00

場所:西日本総合展示場

参加者:20名程度

日本リハビリテーション工学会九州支部の旗を提示しながら、展示品について説明を受けたり体験したり、意見交換を行った。協会の概要とリハ工学とは何かということについても、話し合いながら楽しく巡回した。

第1回リハ工 ミライ・アッセンブリーへの協力

テーマ:最新機器アップデート(福祉機器展オンラインミーティングでの出展品の一部紹介と意見交換)

開催日:2022年3月2日(水)18:00~19:00

場所:Web会議システム

3)他学会等の事業への後援・協賛・協力

なし

4)その他

支部役員会の開催

メーリングリスト「koy-branch-ml@resja.or.jp」にて適宜開催した。